

1 ヘモグロビンって何ですか？

ヘモグロビン（血色素）は、体内で酸素を運搬する役割を担うタンパク質です。赤血球は血液の主成分であり、酸素を肺から各組織へ運んでいます。これは、赤血球に含まれるヘモグロビンの働きによるものです。ヘモグロビンは、鉄を含むヘムという色素とグロビンというタンパク質からできています。血液が赤く見えるのは、ヘモグロビンの影響です。

検査のはなし vol.10

専門医が教える

検査値異常を指摘された際に考えること③

「血液中のヘモグロビンが低いと言われました」



日本臨床検査専門医会
増田 亜希子

2 どのように測定しますか？

自動血球計数装置を用いて測定します。ヘモグロビンは、白血球数、赤血球数、ヘマトクリットなど、他の検査項目とセットで測定されるのが一般的です。ヘモグロビンが低い場合は貧血が、高い場合は多血症や脱水が疑われます。

3 ヘモグロビンが低いと言われました。何が考えられますか？

貧血が疑われます。貧血はヘモグロビンが基準値以下に低下した状態を指します。貧血の目安は年齢により異なります（表1）。貧血がひどくなると、だるさや息切れ、動悸などの症状が出てきます。貧血にはさまざまな原因がありますので、健康診断などで「要受診」と言われたときには、内科の受診をお勧めします。

●**貧血の種類**：もっとも多いのは、鉄分不足により生じる鉄欠乏性貧血です。ビタミンB₁₂や葉酸の不足により生じる巨赤芽球性貧血もあります。そのほか、白血病や再生不良性貧血など、さまざまな疾患により貧血となります。

●**赤血球のサイズと貧血の種類**：ヘモグロビンを測定する際は、MCV（平均赤血球容積）という数値も同時に測定しています。MCVは赤血球のサイズを反映する検査値であり、鉄欠乏性貧血のほとんどはMCVが小さく（80以下に）なります。逆に、巨赤芽球性貧血のほとんどはMCVが大きく（100以上に）なります。MCVなどさまざまな検査値を参考にして、貧血の鑑別診断を行っています。

●**貧血の原因**：鉄欠乏性貧血は女性に多くみられ、月経過多や妊娠などが原因となります。男性では、胃潰瘍や大腸がんなどの基礎疾患が隠れている場合もあるため、必要に応じて胃カメラなどの精密検査が行われます。

表1 貧血の目安

	ヘモグロビン (g/dL)
成人男性	<13
成人女性 小児 (6~14歳)	<12
妊婦 幼児 (6カ月~6歳)	<11